日程表

11月12日(日)友引

12:30　受付(13:15まで)
※総本山長谷寺　臨時入山受付にて
13:30　記念法要 ※観音堂にて
14:10　観音堂内拝　諸堂参拝　移動
15:00　記念式典　※大講堂にて
17:45　懇親会　会場:奈良ロイヤルホテル

11月13日(月)先負

8:30　ホテルロビーに集合
バスにて春日大社へ移動
9:00　春日大社参拝
参拝後閉会式　※春日大社様にて
11:15　解散予定

※解散後、希望される方はホテル、近鉄奈良駅・京都駅まで送迎いたします。

■総本山長谷寺

〒633-0112
奈良県桜井市初瀬731-1

■春日大社

〒630-8212
奈良県奈良市春日野町160

■奈良ロイヤルホテル

〒630-8001
奈良県奈良市法華寺町254-1
TEL:0742-34-1131

※当日は駐車場に限りがありますのでなるべく公共交通をご利用ください。

■ 申込方法 ■

参加費7,000円

宿泊をご希望される方の参加費

シングル20,000円、ツイン15,000円

・所定の振込取扱票にて9月30日までにお振込みください。
・参加費には懇親会費が含まれております。
・振込受領書をもって領収書と代えさせていただきます。

※シングルの室数に限りがございますので、先着順とさせていただきます。なお、できる限り同じ地区仏青内で声をかけていただき、ツインのご利用をお願いします。
※シングル 20,000 円、ツイン 15,000 円には参加費は含まれております。
※参加申込後にキャンセルの場合、参加費の返金はできませんので、ご了承ください。

■ 廻向・祈祷の申込について ■

今回の結集に際して、総本山長谷寺記念法要の中で、各参加者様のご廻向・ご祈祷を行います。つきましては、趣旨をご理解いただき、できる限りお申込みください。ネット申込の際に、希望のご廻向・ご祈祷の入力をお願いします。

●日牌回向10,000円　●特別祈祷10,000円
●月牌回向 5,000円　●普通祈祷 5,000円

■ ネット申込について ■

今回の結集に対するお申込みは地区仏青会長様へご連絡をしていただいたうえで、ネットでのお申込みを行って頂きます。その後、返信メールに記載されている登録番号を、振込取扱票にご記入のうえご入金ください。ネット申込につきましては、下記URLより申込ページにアクセスしていただき、入力・送信をお願いします。送信後、申込時に指定していただいたメール アドレスに受付完了メールを返信させていただきます。

ネット申込URL　※豊山仏青HPからリンクされています。
http://bussei.gr.jp/60th/index.html

■ 当日衣帯 ■

平服(スーツ)・折五条袈裟・念珠

お問い合わせ先

真言宗豊山派仏教青年会　60周年記念結集
委員会事務局　内田秀明

〒518-0204　三重県伊賀市北山338　喜福寺内
TEL:0595-52-1170　Mail: bb60ketujuu@gmail.com
携帯090-1407-1313

※日中は繋がりづらいことがありますが、着信・留守電を入れていただければ、折返しご連絡させていただきます。

真言宗豊山派仏教青年会　創立六十周年記念結集

第四十五回全国結集総本山長谷寺大会

雲外蒼天

～六十年からの飛躍～

平成二十九年十一月十二日(日・友引)・十三日(月・先負)

ご挨拶

真言宗豊山派仏教青年会は、本年で創立60周年を迎えます。このような節目の年を迎える事ができましたのは、常日頃より私どもの活躍をあたたかく見守ってくださいます宗派諸大徳、歴代会長・執行部各位の皆様のおかげと深く御礼申し上げます。また、会員の皆様とは、良き出会いとご縁をいただき、重ね重ねありがたみを感じる次第でございます。

この度、創立60周年記念事業の一環として、総本山長谷寺への総登嶺を実施することになりました。

初瀬山の麓から中腹にかけて伽藍が広がる真言宗豊山派の総本山長谷寺は、徳道上人が十一観世音菩薩像をご本尊として建立したことに始まります。豊臣秀長公に請われ、専誉僧正が入山すると、その学風を慕って全国から学僧が集まり、長谷寺は、豊山教学の学山として再興され、大いに発展したことは、皆様、すでにご承知の通りと存じます。これまで真言宗豊山派仏教青年会では、実践的な活動を通して、会員同士の交友を深め、切磋琢磨することで多くの研鑽を積んで参りましたが、我々青年僧侶にとっても信仰の原点となる初瀬の地で、その伝統と歴史を再認識し、会員一同、これからのさらなる精進を願い、御本尊十一面観世音菩薩様にご報告と感謝の念を捧げたいと存じます。

今後ともより一層のご指導とご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

合掌
真言宗豊山派仏教青年会
会長　木村　真弘

春日大社と長谷寺の繋がり

難陀龍王立像
(総本山長谷寺ホームページより)

古のころ、わが国では「本地垂迹説」という一つの思想体系によって、日本古来の天地の神々と大陸より伝来してきた仏の教えが習合し、ともに共存する歴史を歩んでまいりました。

時に古来の神々が「権現」と称され「仏の化身」として信仰を集め、さらに「諸天善神」として仏教の守り神となりました。また各地寺院の御本尊様と神社の御祭神様が同一視され、お互いに衆生を救うすがたとなって大切にお祀りされてきたのです。

「舞楽始『抜頭』より」(写真提供:奈良市観光協会)

同様に、総本山長谷寺におきましては、御本尊十一面観世音菩薩様の両脇侍である「雨宝童子」様は、伊勢神宮の御祭神「天照大御神」様、「難陀龍王」様は「春日大社春日明神」様のご化身として、永く崇敬の念を集めてまいりました。

今回の60周年という節目に際し、御縁ある春日大社様を参拝させて頂くことは、総本山長谷寺のルーツを辿る貴重な経験になることでしょう。

世界に目を向ければ、偏執で排他的な風潮が蔓延し、それに伴う戦火やテロリズムの脅威が止まない混沌とした時代です。

そのような今だからこそ、先人が培われてきた「互いを尊重し、受け入れる」という寛容な精神を受け継ぎ、次代へ紡ぎ続けましょう。

ご挨拶

この度、真言宗豊山派仏教青年会60周年記念長谷寺結集総登嶺にあたり、実行委員長という大任を頂きました。

「雲外蒼天～60年からの飛躍～」をテーマにいたしまして、記念すべきこの年を祝うべく、実行委員一同様々な準備をしてまいりました。

この度の結集につきましては、総本山長谷寺を会場として使わせていただくこととなり、田代弘興猊下をはじめ、御本山の方々には深く感謝申し上げます。

私たち青年僧侶にとりまして、御本山とは青年時代を過ごした場所であり、人生の節目には必ず訪れる場所でもございます。また、子育て世代でもある私たちにとりましては、次世代を担う子どもたちを導く場所でもあります。

これまでの豊山仏青を支えてくださった諸先輩方、そしてこれからの豊山仏青を引き継いでくれる子どもたちと同じ感動を共有できる場所は、御本山だけではないかと思っております。

これまでの歴史を振り返り、そして未来の豊山仏青のために、たくさんの方々にご参加いただきたく存じます。

輝きあふれる結集となりますようにご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

合掌
真言宗豊山派仏教青年会
創立 60 周年記念結集長谷寺大会
実行委員長　喜田　智静